

図 3-15 大動脈の組織像

中膜には、HE 染色 (a) では明らかでない弾力線維が平滑筋層に大量に存在する。これは、弾性線維染色 (b) で明らかとなる。

れる顆粒をもち、ギムザ染色では紫色の顆粒を多数認める。好塩基球は、結合織の肥満細胞と同様に、ヒスタミンやヘパリンをもっている。

3) **リンパ球 lymphocyte**：白血球の1種で、大きさより大リンパ球と小リンパ球に分けられ、さらにその発生より、胸腺由来リンパ球 (Tリンパ球) と骨髄由来リンパ球 (Bリンパ球) に分けられている。

T, Bリンパ球 (T, B細胞) は、形態学的に区別できないが、細胞表面の抗原に差があり、その特色より区別されている。B細胞は抗体を作る能力があり、免疫芽球から形質細胞に変化し、免疫グロブリンを分泌する (液性免疫)。一方、T細胞は細胞性免疫に関与し、直接標的細胞を破壊したり (キラー T細胞)、B細胞の抗体産生を調節する。分布にも特色があり、Bリンパ球はリンパ節胚中心に多く、Tリンパ球は胸腺やリンパ節の胸腺依存領域に多い。

4) **単球 monocyte**, **マクロファージ (大食細胞) macrophage**, **組織球 histiocyte**：運動能力をもち、抗原物質を貪食し、その抗原刺激をリンパ

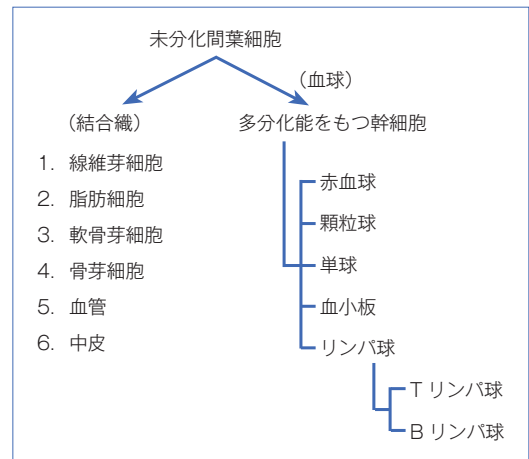


図 3-16 血球と結合織の形成

#### Note

##### NK 細胞

T, Bリンパ球とは異なるリンパ系細胞で、免疫刺激がなくとも腫瘍細胞やウイルス感染細胞を破壊する。中型リンパ球で、顆粒をもち、large granular lymphocyteともよばれる。

球に伝える働きがあると考えられている。

5) **血小板 platelet, thrombocyte**：骨髄にある